

慶應義塾大学 パネル調査共同研究拠点・慶應義塾大学産業研究所 共催

パネルデータ解析セミナー

慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点・産業研究所では、パネルデータ分析の基礎を学ぶためのセミナーを開催いたします。

幅広い分野におけるパネルデータの公開に伴い、経済学を含む社会科学分野一般において、パネルデータを使った分析の重要性は飛躍的に増しつつあります。本セミナーでは、統計パッケージを使ったパネルデータのハンドリングの方法と基礎的な分析方法について、受講者による演習を中心に解説を行う予定です。

本セミナーは、1日間の準備講座と4日間の本講座からなります。準備講座は、計量経済分析の初学者を対象として、回帰分析の考え方を基礎から解説することを目的とします。準備講座で扱う内容に習熟している場合、本講座のみの受講も可能です。具体的な講義内容に関しては、下記の概要をご参照下さい。

記

対 象：学部生、大学院在籍者・修了者、公務員、シンクタンク等研究機関研究員

日 時：

a. 【パネルデータ解析セミナー：準備講座】

平成22年9月13日（月）13:00～18:00

b. 【パネルデータ解析セミナー：本講座】

平成22年9月14日（火）～17日（金）各日とも13:00～18:00

（4日間の連続セミナーとなります）

会 場：慶應義塾大学 三田キャンパス

参加費：無料

申込方法：下記 ~ の内容を記載の上、pd-info@adst.keio.ac.jp までメールでご予約下さい。

参加方法（1．準備講座のみ参加 2．本講座のみ参加 3．両方とも参加）

お名前（ふりがな）

職業（学生、院生、公務員、研究機関員など）

ご所属

メールアドレス

申込締切：平成22年9月3日（金）

定員に達し次第募集を締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

概要：

a. 【パネルデータ解析セミナー：準備講座】

計量経済分析の初学者を対象として、受講者による演習を交えつつ、回帰分析の考え方を基礎から解説します。具体的な内容は以下の通りです。

(1) Stata による回帰分析

- (a) データの読み込み (use, insheet コマンド)
- (b) データの確認 (browse, describe)
- (c) 変数の構築 (generate, replace, drop)
- (d) 基本的な統計量の確認 (summarize, tabulate)
- (e) do ファイルの使い方
- (f) 回帰分析の考え方
- (g) 回帰分析の実行と結果の解釈 (regress)

b. 【パネルデータ解析セミナー】

パネルデータ分析の基礎的な考え方を解説し、実際の統計データを用いた演習を行います。演習では、慶應義塾家計パネル調査 (KHPS) の一部を本セミナー用に加工したものを使用する予定です。具体的な内容は以下の通りです。

(1) Stata の利用方法 (準備講座の復習)

- (a) データの読み込み・確認・変数の構築
- (b) 基本的な統計量の確認
- (c) 回帰分析の実行
- (d) do ファイルの使い方

(2) パネルデータの構築

- (a) 異なるデータセットの接続 (merge, append コマンド)
- (b) 繰り返し (ループ) による処理 (foreach, while)
- (c) マクロ (local, global)

(3) クロスセクション分析の応用

- (a) 質的従属変数モデル (probit, logit, clomit)
- (b) サンプル・セレクションモデル (heckman)

(4) パネルデータ分析

- (a) 固定効果・変量効果モデル (xtreg)
- (b) 差分の差分推定
- (c) イベント・ヒストリー分析 (ハザード分析・サバイバル分析)

お問い合わせ先 慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点 E-mail: pd-info@adst.keio.ac.jp
